



答えて市長！一般質問

前ページからの続き

(問) 来年度から児童保育室の入室を小学生全学年まで拡大する計画だが、施設に不足はないか。

(答)健康福祉部長 来年度一学童で不足する見込み。土曜の開設時間を午後7時まで延長する。

(問) 教室へエアコン設置を。

(答)市長 学校施設改修が必要で、優先順位をつけてエアコン導入に前向きに考えていく。

(問) 消費税8%、食材の高騰もある。給食材料費へ一般財源から補助すべきではないか。

(答)教育長 献立や食材の選定工夫で対応。学校給食法で食材は保護者負担となっている。

◆きよみ野地内大型車対策を

(問) 関谷野谷線沿線住民は、大型車通過に伴う振動に悩まされている。道路改良と速度規制を。

(答)都市建設部長 今年度路面調査を実施し、平成27年度以降3カ年に分け、道路整備を実施する。車道と歩道が分離しており必要なしとの警察見解である。

国保税の引き下げを

佐藤 清治

(問) 日本共産党市議団が行っている「市民アンケート」中「市

に最も望む施策は」の問いに対する第一位が国保税の引き下げである。もっと安くできないかの声に応え引き下げのべきでは。

(答)市長 国保税を引き下げるのは困難であると考えている。

◆政治権力が教育に介入してはならない

(問) 成立した地方教育行政改正法は「首長からの独立性」を取り上げるものである。一般紙の世論調査でも政治家が学習内容をゆがめめることのないよう一定の歯止めが必要というのが75%に上っている。教育委員会の独立性をどう保つていくのか。

(答)市長 これまで通り教育委員会と連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進して参りたいと考えている。

◆市民が安心して暮すために

(問) 憲法を変える手続きを現行の国会議員の2/3から1/2にすることは許されない。また、憲法解釈の変更によって集団的自衛権の行使をしようとしているが圧倒的市民が不安に思っている。市長の見解は。

(答)市長 憲法の3原則が守られた上で国会をはじめ広く国民を巻き込んだ議論が行われるべきと考えている。

市の平和事業取組みの推進 ―戦後七十周年にむけて

小林 昭子

(問) 来年度の70周年に向け、非核宣言など市平和事業の推進を。

(答)市長 平成27年は70周年の節目となるが過去の悲惨な戦争を風化させる事なく市民が平和を考える場を提供していきたい。

◆市内福祉施設の課題。

(問) 保育所は。

(答)健康福祉部長 平成27年度に向け、認可保育所、認可外保育所開設に向け事業者と準備を進めている。その他もう1ヶ所認可保育所設置について事業者と協議を進めている。

(問) 障がい者グループホームは。

(答)健康福祉部長 平成25、26年、なまずの里福祉会に障がい者共同生活援助整備促進事業を委託し開設に向け準備している。

(問) 特別養護老人ホームは。

(答)健康福祉部長 地域密着型特養建設に向け準備を進めている。

◆建設業退職金共済制度(建退共)の普及を

(問) 建設現場で働く労働者の退職金制度普及の為に、市は市発注工事の他、民間事業所、1人親方への周知、普及の促進を。

(答)市民生活部長 市内には42事業所が「建退共」に加入しているが、1人親方の現状は把握していない。「建退共」については、今後は市発注工事以外のものでも市広報に掲載し周知を検討していきたい。

新トンネルは欠陥施設ではないか。改修が必要。

伊藤 正勝

(問) 吉川の幹線道路。武蔵野線下の新トンネルは先の台風で1メートル以上の雨水が溜り4時間余り通行止めになった。これは施設として欠陥があるということであり改修をはかるべきだ。

(答)市長 昨秋の溢水は集中して200ミリ余りの雨が降ったため、くみ出しは出来たもののそれを受ける排水溝が溢れ処理が間に合わなかった。警報などの信号装置は作動しており欠陥

農地を守って農家を危くする 農地制度見直しに一矢

齋藤 詔治

(問) 人口減少が進む旭・三輪野江地域を始め、農業振興地域農用地(青地)は、首都圏近郊農業地域の特性を活かし、一部を白地にし、農地(資産)の活用が図られる見直しを、又安倍政権の「第三の矢」成長戦略・強い農業を積極的に導入しては。

(答)市長 農業に関する基本計画平成26年度基礎調査、27年度計画見直し予定、調査結果を慎重に検討。規制改革会議の意見書等今後の動向を見守って行く。

◆児童生徒の交通安全対策

(問) 吉川小学校入り口県道沿い歩道の拡張整備を早急に。

(答)都市建設部長 越谷県土整備事務所に確認、連続的な用地買収完了次第、取り組みます。

◆水道料金と石綿管の耐震管敷設工事の現状

(問) 一立法当たり約19円の逆ざや料金です。この状態で良いのか。平成30年度迄に耐震管の敷設替えが終了との事、残工事距離と工事費概算総額は、災害が発生し水道管が破損し、水道の使え無き生活は困ります。一日も早い工事完了を。

(答)市長 現段階では逆ざや対象に向けた料金値上げは想定していない、今後事業実施の中、検討、残り工事距離約32km、概算工事費30数億円です。



園庭で遊ぶ園児

